

【基本情報】

クラブ名	浦和レッドダイヤモンズ		
活動テーマ	スチュワード活動に参加しどのように試合がなりたっているか理解する		
実施場所	埼玉スタジアム		
活動部署	トップチーム、競技運営本部、広報部、後援会事務局		
参加者	照内利和	根本健太	
活動期間	2025 年 4 月 25 日(金)		

【活動報告詳細】

■活動目的

試合日にどのような人が関わり、試合が成り立っているのかを学び、選手として何を背負って日々プレーしなければいけないか理解していく。

■活動内容

スチュワード活動(試合運営ボランティア)について理解、総合案内にて対応、座席案内体験

■選手コメント

照内利和選手

スチュワード活動を体験してどのように試合運営が行われているか理解できました。

試合の裏側では多くの方々が関わっており、そのおかげで試合が成り立っているのだとわかりました。

裏で運営していただいている方々のためにもプレーや結果で恩返ししなければいけないと思いが強くなりました。

スチュワードの方々だけではなく、関わってくださっている全ての人のために戦っている姿を見せたいと思います。

根本健太選手

スチュワード活動に参加してみて、改めて色々な方からとても応援されていて、愛されているクラブだなと感じました。自分たちがピッチで動いてるだけでなく、それ以外のところでもたくさんの方たちが自分たちのために動いてくださっているし、そういう方たちがいることによって自分たちが最高の雰囲気の中でプレーできているという感謝の気持ちを忘れずにこれからも日々練習、試合を全力でやっていきたいと改めて感じました。

■活動写真



【基本情報】

クラブ名	浦和レッドダイヤモンズ		
活動テーマ	選手が障がい者アートの作品に触れること、そしてそれらを制作したアーティストの方々との交流を通じて、多様な価値観や表現のあり方への学びを深める。		
実施場所	みぬま福祉会 川口太陽の家		
協働団体	浦和レッズ	社会福祉法人みぬま福祉会	埼玉スタジアム
参加者	照内利和	根本健太	
活動期間	2025 年 11 月 7 日(金)		

【活動報告詳細】

■活動目的

本活動は、社会福祉法人みぬま福祉会の皆様の「どんな障がいがあっても、『自分らしく生きている』『自分らしく働ける』ということを社会の多くの人に知ってほしい」という思いにクラブが共感し、実施している活動である。
浦和レッズのSDGs推進活動の一環として取り組むものであり、工房のアーティストのみなさんとの交流や作品の見学を通じて、選手自身が多様な価値観や表現に触れ、表現することの意味や個性を尊重する姿勢への理解を深めるとともに、社会とともに生きるクラブとしてのあり方を再認識することを目的としている。

■活動内容

社会福祉法人みぬま福祉会が運営する障がい者福祉施設「工房集」および「川口太陽の家」を訪問し、アーティストとの名刺交換や会話を通じて親睦を深めるとともに、アーティストが制作した浦和レッズをテーマとした作品などを見学した。日々の創作活動の様子や工房の雰囲気に触れながら交流を図った。

■選手コメント

照内利和選手

障がい者アート工房の見学を通して、多様な価値観や表現に触れることができました。

また、多くの方が浦和レッズのユニホームやグッズを身につけており、改めて地域の多くの方々に支えていただいているのだと感じました。

アーティストの方々はそれぞれに個性があり、自分らしさを表現されていました。サッカーにおいても個性を生かして表現することが重要だと感じており、今回の経験を今後のプレーに生かしていきたいと思います。

見ていてワクワクするような作品も多く、自分自身もプレーでワクワクさせられるような存在になりたいと思いました。

根本健太選手

自分が見学した障がい者アート工房では、参加者それぞれが自分のペースで作品づくりに取り組んでおり、その集中力と表現力にとっても刺激を受けました。サッカーでも個々の強みを活かすことが大切ですが、ここでもまさに同じことを感じました。自由な発想から生まれる作品には力があり、一つひとつに個性が感じられ、自分自身もっと柔軟に挑戦していこうという気持ちになりました。そして、自分たちが見学に伺った際、その場で涙を流すほど浦和レッズへの強い想いを語ってくださる方もおり、多くの方がクラブを熱く応援してくださっていることが伝わってきました。その感謝の気持ちを忘れず、ピッチの上で表現していけたらと思います。

■活動写真

